

初級～中級レベル

# 《CFOが知っておくべき》 代表的な経営指標（KPI）の意義と活用事例

- 開催日時 2018年4月12日（木）14：00～17：00（開場13：30）
- 開催場所 株式会社プロネクサスセミナールーム（東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング5F/最寄駅JR浜松町駅  
[会場URL] [https://p-support.pronexus.co.jp/home/files/html/map/map\\_tokyo.html](https://p-support.pronexus.co.jp/home/files/html/map/map_tokyo.html)  
（車椅子でのご来場順路も掲載しております。）
- Webゼミ 視聴期間：4月19日（木）10：00～5月18日（金）17：00（再生時間：約3時間）  
※期間内にご視聴いただけますようお願いいたします。（視聴期間の延長には応じかねますので、予めご了承ください。）  
※Webゼミはマルチデバイス（PC、Android、iPhone、iPad）での受講が可能です!!  
※Webゼミはご視聴されるご本人様のメールアドレスでお申込みいただきますようお願いいたします。  
（お申込みいただくメールアドレスがご視聴いただくIDとなります。）
- 講師 大津 広一氏：米国公認会計士／株式会社オオツ・インターナショナル代表  
早稲田大学大学院ビジネススクール（経営管理研究科）客員教授
- 受講対象者 経理財務・経営企画・IR・事業企画部門の担当役員（CFO）・管理責任者等

下記のような方にお薦めいたします。

- 経営計画の策定作業および社内外での説明に携わる経営企画、経理財務、IR部門等の担当役員（CFO）
- 事業計画を具体的な経営指標（KPI）に落とし込んでいく手法を学びたい方（事業企画責任者・管理者等）
- 会計の職責の従事者で、経営戦略と会計数値のつながりに関して習得したい方（会計士、税理士、企業内の会計・財務担当者等）
- 一通り会計の知識はあるが、実務への応用方法を最新のケースを用いて学びたい方（営業、製造、研究、コーポレート部門等、広く一般社会人）

## ■ プログラム（電卓を使用いたします。）

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 企業価値を定義し、企業価値算定式を経営指標レベルに分解する</li><li>2. 主要KPIの意義と活用場面<ul style="list-style-type: none"><li>【1】ROE（自己資本純利益率）<ul style="list-style-type: none"><li>①ROEを目標に掲げるべき企業、目標にしてはいけない企業とは</li><li>②ROEの目標設定を要求する投資家の声はどのようなものなのか</li><li>③ROEを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li><li>【2】ROA（総資産経常利益率）<ul style="list-style-type: none"><li>①ROAを目標に掲げるべき企業、目標にしてはいけない企業とは</li><li>②ROAは究極の指標となるのか、ROICとの比較優位性は何か</li><li>③ROAを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li><li>【3】ROIC（投下資本営業利益率）<ul style="list-style-type: none"><li>①欧米企業はROICを究極の経営指標と考えるのはなぜなのか</li><li>②ROICの分子と分母を定義する上での注意点とは</li><li>③ROICを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li></ul></li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>【4】EBITDA マージン<ul style="list-style-type: none"><li>①EBITDAを目標に掲げるべき企業、目標にしてはいけない企業とは</li><li>②のれんの償却廃止は、本当にM&amp;Aを加速するのか</li><li>③EBITDAを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li><li>【5】DE レシオ<ul style="list-style-type: none"><li>①DE レシオを目標にすべき企業、自己資本比率を目標にすべき企業</li><li>②DE レシオの適正水準は、ズバリ何倍であるべきか</li><li>③DE レシオを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li><li>【6】フリー・キャッシュ・フロー<ul style="list-style-type: none"><li>①FCFを目標に掲げるべき企業、目標にしてはいけない企業とは</li><li>②FCF重視の経営は、株主のための経営？成長の限界を露呈しているだけ？</li><li>③FCFを目標に掲げる企業のケーススタディ</li></ul></li><li>3. その他主要KPIの一覧表</li><li>4. まとめと質疑応答<br/>KPIを企業で浸透させるための5つのポイント</li></ol> |
|--|--|

## ■ セミナーの趣旨

日本企業の業績が回復すると同時に、株主や金融機関を初めとするステークホルダーからの企業に対する期待と要求は、売上、利益の成長、株主還元の強化など、日増しに強いものとなってきています。

経営計画においては、経営環境の変化を踏まえた全社の経営戦略に始まり、個別事業の重点項目が語られた上で、最後に具体的な経営指標（KPI）による経営目標が明らかにされます。経営計画が実現した暁にはどのような企業の姿となるのか、実現できなかったとすれば何が想定外であったのかをその後明らかにするために、具体的な経営指標を前もって公言することの重要性は、言うまでもありません。

本セミナーでは企業が中期経営計画においても活用する機会の多い代表的な6つの経営指標を採り上げます。

指標ごとに、①その指標を目標に掲げる意義、②指標を高めるための具体的な施策、③経営指標を戦略的に活用する先進企業のケーススタディについて解説していきます。

具体的な企業・事業戦略、経営目標の設定に際し、CFO、またはCFOに準じる方にとって、本セミナーは有益な示唆を得る機会となるものです。

（裏面へ続く）

■ 講師プロフィール

大津 広一 氏 : 米国公認会計士/株式会社オオツ・インターナショナル代表  
早稲田大学大学院ビジネススクール(経営管理研究科)客員教授

米国公認会計士。1989年、慶應義塾大学理工学部管理工学科卒業。米国ニューヨーク州ロチェスター大学経営学修士(MBA)。富士銀行、バークレイズ・キャピタル証券、ベンチャーキャピタルを経て、2003年に株式会社オオツ・インターナショナルを設立。企業戦略や会計・財務のコンサルティングを行う。また、大手メーカー、金融機関、流通、サービス、外資系企業など年間30社に対して、アカウンティングとコーポレートファイナンスの教育講師を務める。中央大学アカウンティングスクール講師、グロービス・マネジメント・スクール講師を歴任し、現在は早稲田大学大学院経営管理研究科客員教授、多摩大学大学院経営情報学研究所客員教授、および慶應義塾大学理工学部管理工学科非常勤講師。



著書に『ビジネススクールで身につける会計力と戦略思考力(新版)、<ビジネスモデル編>』『ビジネススクールで身につけるファイナンスと事業数値化力』『企業価値を創造する会計指標入門』『戦略思考で読み解く経営分析入門』『英語の決算書を読むスキル』『会計プロフェッショナルの英単語100』がある。

■ 受講料(1名様分)

- ・一般 22,680円(本体価格 21,000円)
- ・WTC会員 17,280円(本体価格 16,000円)

■ 定員 30名 ※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきます。(最少催行人員5名)

■ ご持参いただくもの 電卓、筆記用具

■ お申込み方法・お支払い方法・ご注意等(WebサイトまたはFAXでお申込みいただけます。)

- 受講票につきましては、開催日3日前までにメールでお送りいたします。
- セミナー当日は受講票メールをプリント出力の上、受付にご提出ください。  
※受講料ご入金未済の受講票をお持ちのお客様は、開催日までにお振込みを済ませ、開催日当日受講票に振込金受取書の写しを添付してお持ちください。
- 受講料は、東京会場4月3日(火)、Webゼミ4月13日(金)までに、下記に記載されている指定銀行口座にお振込みください。なお、開催前日の17時までにキャンセルの連絡がない場合は、お振込みいただいた受講料のご返金はいたしかねますのでご了承ください。代理の方のご参加もお受けいたしますので、是非ご参加ください。※お振込み手数料につきましては、お客様ご負担をお願いいたします。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーへのご参加をお断りいたします。
- 講義内容・趣旨等を考慮のうえ、講師と同業の方などセミナーへのご参加をご遠慮いただく場合がございます。
- 大地震発生等の諸事情により、セミナーを中止・延期する場合がございますので予めご了承ください。

■ Webゼミのご案内

- Webゼミの詳細につきましては以下のURLをご参照ください。なお、Webゼミはセキュリティの設定や、動作環境によっては受講できないことがあります。お申し込みの前に下記サイトにてサンプル動画をお試しく下さい。  
[https://p-support.pronexus.co.jp/home/files/html/websemi\\_info.html](https://p-support.pronexus.co.jp/home/files/html/websemi_info.html)
- 受講用のURLは、受講料お振込み確認後、セミナー開催時までメールにてご案内いたします。(お振込みが確認できないときは、お申込みを取り消させていただくこともございますので、予めご了承ください。)
- 本セミナーで使用する資料につきましては、別途ご案内するWebゼミサイトからダウンロードしていただきますようお願いいたします。

銀行振込のご案内

【振込先】1. みずほ銀行 浜松町支店(普) 5018080      2. 三井住友銀行 浜松町支店(普) 6826026  
【振込先口座名】一般社団法人世界貿易センター東京 イッパンシャダンホウジンセカイボウエキセンタートウキョウ

FAXでのお申込

申 込 書

- 下記「個人情報の取り扱いについて」に同意いただき、受講申込書にご記入のうえお申込みください。

【個人情報の取り扱いについて】

お預かりする個人情報は、本セミナーに関する事務処理、及びお客様へのサービスの一環として、弊社が取り扱う商品、サービス情報やセミナー情報等についてご案内することを目的として収集し、それ以外に利用することはありません。  
また、頂いた個人情報を第三者に提供することはありません。  
その他の個人情報取扱い方針につきましては、<http://www.wtctokyo.or.jp/contact.html>をご覧ください。

受講申込書(FAX用) ※申込書にご記入のうえ FAX03-5733-6079へ 年 月 日

<p>「CFOが知っておくべき」 代表的な経営指標(KPI)の意義と活用事例</p>			<p>ご希望のセミナーを○印で囲んでください。 東京会場(4/12)・Webゼミ(4/19~)</p>	
ふりがな			TEL	
貴社名			FAX	
ご芳名(ふりがな)	部課名	役職名	メールアドレス(ハッキリ記入をお願いします)	
			@	
請求書発行: 有 無			領収書発行: 有 無	

※ 講義の録音・録画並びにPC利用はご遠慮いただいております。ご理解、ご協力をお願いいたします。  
※ 上記の内容は、変更になることもございます。予めご了承くださいませよう願いたします。

一般社団法人世界貿易センター東京 TEL 03-5733-6070 / FAX 03-5733-6079